

オオヨシキリ コヨシキリ

今回は季節に合わせて、ちょうど初夏から夏にかけて、ごく一般的に見られるヨシキリをとりあげました。

オオヨシキリ — Great Reed Warbler

コヨシキリ — Black-browed Reed Warbler

両者とも、ヒタキ科ウグイス亜科※の鳥で、いわゆる Warbler (ワーブラー) の仲間です。

漢字では、大葎切 または 大葎切

小葎切 または 小葎切

と表記されます。和名では、葎原で大きな口を開けて気ぜわしくさえずる鳥をその大きさと分類し、大型をオオヨシキリ、小型をコヨシキリとしています。

英名では、「葎原でさえずる鳥」の意を前面に出して、やはり形の大きいオオヨシキリには「大」を意味する“Great”をつけ「大型の、葎原でさえずる鳥」とし、コヨシキリの方は、眉の色の特徴をとらえ、“Black-browed”「黒い眉の」「Reed Warbler」「葎原でさえずる鳥」となっています。

実際にはコヨシキリは、私にはどう見ても「白い眉」の上に黒い縁どりがある様に見えます。

ウグイス類を総称して、Warbler (ワーブラー) と呼びます。日本では 17 種が記録されています。姿、形が酷似しており、識別は困難ですが、声には特徴があり、一声鳴いてくれば、ただちに分かるといわれます。

アメリカなどでは、特に Warbler Watcher (ワーブラーウォッチャー) といって Warbler 類を集中的に楽しむ人たちもいるとのこと。識別の困難なシギ・チドリ類に挑戦するシギチファンと同じ心理からでしょう。

バードウォッチングを楽しむひとつの方法として、自分の得意な分野を発見してその線を勉強し、その分野については、「おれに任せておいて！」といえるものを持つのも良いと思います。

大宮のハクトウワシ

『しらこぼと』No. 112、1993年8月号より

※ 日本鳥類目録第7版では、ヨシキリ科